

【草花の部屋】

タツナミソウ

(シソ科タツナミソウ属 *Scutellaria indica*)

和名：タツナミソウ(立浪草) 別名： 英名：

シソ目 多年草 原産地：日本、中国、朝鮮半島

花言葉：私の命を捧げます 花色：紫、桃、白



← 写真-1 タツナミソウ

撮影日：2020年05月08日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん

↘ 写真-2 タツナミソウの花

撮影日：2020年05月08日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 タツナミソウの葉

撮影日：2020年05月08日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん

奈良市郊外の住宅地内で見かけました。地表近くに、こじんまりと咲いていました。遠目にはアジュガの花のように見えました。が、よくみると異なりました。

タツナミソウの仲間には多くの種がありますが、分類が難しい植物として知られていて、学者によって見解が異なり、それにともない学名も図鑑によって違っていることがあるそうです。タツナミソウ属の植物は、世界に広く約 200 種が分布し、日本には 16 種が自生しているそうです。

地下茎は細く短く這い、茎は赤みを帯び、葉は広卵形で先は丸みを帯び、基部は心形で対生します。縁には鈍い鋸歯があり、両面とも軟毛が多く、裏面には腺点があります。茎の先に長さ 3～8cm の花穂をだし、一方向にかたよって花をつけます。

花冠は唇形で、筒部が長く、基部で急に曲がって直立します。上唇はかぶと状にふくらみ、下唇は 3 裂し、内側に紫色の斑点があります。花期は 5～6 月です。

最もよく栽培されているのはタツナミソウの変種で、タツナミソウよりも一回り以上小さいコバナタツナミソウ(小葉立浪草 *S. i. parvifolia*)で、日当たりがよく乾燥しがちな斜面などに生えます。草丈は 5～15cm、全体に毛が密生していて柔らかい感触があり、ビロードタツナミとも呼ばれています。

和名のタツナミソウ(立浪草)は、花が咲く様子が、泡立って寄せてくる波を思わせるのでつけられたそうです。